

熱海写真俳句撮詠物語の物語

13NEN NO MONOGATARI

四季があり
追えば熱海の
湯けむりを

写真俳句と熱海は相性がよい。美しい風景の三要素は水と山と緑である。熱海は三要素をすべて備えている上に史蹟、温泉が豊富で交通の便がよい。つまり、写真の被写体と俳句の素材として完璧である。古今の文人が熱海に多く集まるのも、表現意欲をそそのからである。

グローバルに知名度の高い熱海から発信する新しい表現手段として、写真俳句はまさにお誘い向きである。

熱海写真俳句撮詠物語名誉顧問 森村誠一

熱海写真俳句撮詠物語

080-3217-3297 info@atamistory575.com



2013

H25

=13年 記録から記憶へ=

熱海写真俳句撮詠物語

2025

R-07



記録から >>>>>

当冊子は、熱海写真俳句撮詠物語のホームページとリンクすることで
本誌の内容を補足しております。頁下部のQRコードをご活用下さい。



印刷本後：訂正、新しい記事、連絡等はこの窓口にて対応します。

はじめに

平成25年に始まった「熱海写真俳句撮詠物語」が13年目をむかえ、今年令和7年10月をもって閉会の節目となった。「もう13年？」の感もありますが、残っている資料をみるとその多さに驚き、多くの人、催しが蘇り感慨深い思いです。

平成25年熱海梅園うめまつりに始まる1月、森村誠一先生をトップに据え「熱海写真俳句ストーリーコンテスト」が始まった。その時が熱海写真俳句撮詠物語のスタートとなり10年を超える物語となった。

その後13年の間、熱海市観光協会、熱海市、旅館ホテル協同組合、仲見世り商店会、熱海新聞社などから、多くのご支援ご協力を頂き活動してきた。そんな事から閉会するに当たり何も残さず終わらせてしまうのはあまりに残念、申し訳が無い。そんな思いがつり「証」となるこの一冊を作成し、心ばかりの御礼とすることとした。この記録と記憶の一冊、ご一読いただければ幸いに思います。

(矢崎)



観光都市熱海



第二回コンテストチラシ

13年の活動概要。

西暦	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
和暦	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
写真俳句活動年数	準備	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
月例会		5月	149回											10月	
天地人賞		5月	149回											10月	
吟行会		5月	3月												
会員作品展		10月	ギャラリー展										WEB展	10月	
熱海新聞優秀賞					6月	112回								9月	
熱海新聞優秀賞展					10月	10月									
熱海どこでも展		4月	26回	11月	仲見世通り展、富貴処多賀展、ウェルシティー湯河原展、梅まつり展、車子舘開館展										
ホテルミクラス展						5月	61回					5月			
ヒストリア575コンテスト			3回	2回											
市民教室		前期、後期2回													
記念カレンダー															
まちづくり補助金															
出版本															
ホームページ		4月	継続												



写真俳句との出会い

写真俳句ブログ

2000年代からネット上でにわかに姿を現し話題を呼んだ「写真俳句ブログ」。フリーに募集し、ランキングをつけ楽しむというものだった。雑誌やTV番組で紹介されるなど人気だったのを記憶している。

フォト五七五

2007年11月～12月にかけてNHK趣味悠々「フォト五七五」が毎週一回八回シリーズで放映された。

多くの人々が自由・気軽に投稿し楽しむことのできる背景には、ネットの普及に加え、爆発的な普及を遂げたデジタルカメラがある。これは撮影直後即モニターで確認でき、家庭で印刷できる。また加えて通信機能を持つ携帯電話でのカメラ機能の進化がこれに輪をかけた。撮影し目視した写真を即遠方に送ることができる。

タイミングよくこれに追い打ちをかけたのがNHK趣味悠々「フォト五七五」であった。かく言う私もその一人で「写真俳句ブログ」のメンバーでもあり楽しんだ。こんな状況下で身近になった写真に簡単な言葉を添えて楽しむ文化が定着し日常化していった。

熱海市にみちびかれて

平成20年、熱海に移住した。風光明媚な熱海は伊豆、箱根の玄関口である街。観光資源、歴史資源も豊富な街。都会からの移住高齢者も多く、市民活動も盛んな街。行政は観光を軸した歴史文化の街。重要文化財の保存活動を通じてこれらを学んでいるとき森村誠一先生・そのグループと知りあい、日常生活での写真俳句を知る楽しさを学びスタートとなった。

矢崎英夫

※ 写真俳句ブログは形を変えて現在も行われている。また別に「俳句ニッポン」行われこれも魅力だ。



今も続く写真俳句ブログ



フォト五七五



森村先生のページ



現在の
写真俳句部ブログ





目次

発刊にあたって	矢崎英夫	2
はじめに		
写真俳句との出会い		

I 熱海というまちと写真俳句

熱海というまち	7
熱海梅園と梅まつり	8
写真俳句ストーリーコンテスト	9
森村誠一先生と中村廣幸氏との出会い	11
森村誠一先生と写真俳句	12

II 熱海写真俳句撮詠物語の設立

設立趣旨	14
基本コンセプト 健康、観光、交流	15
「写真俳句の郷・熱海」推進プロジェクト	16
目的と活動 会則	18
活動・準備資金確保への取組み	19
組織構成	20
広報への取組み	21
ホームページの設置	22

III 熱海写真俳句撮詠物語の活動

月例会	24
天・地・人賞とHPへの掲載	25
月報	26
吟行会	27
ホームページの運営	28
作品展 13年の歩み	29
起雲閣ギャラリー展	30
起雲閣和室展	32
web展	33
熱海新聞優秀賞展	34



熱海ヒストリア・575コンテスト	35
熱海どこでも展 仲見世通り展	36
蕎麦処多賀展	38
ウェルシテイー湯河原展	39
熱海梅園梅まつり展	40
熱海新聞優秀賞 月間掲載	41
ホテルミクラス展	42
市民教室	45
総 会	47
熱海写真俳句撮詠物語 2018年カレンダー	48
写真俳句小説 恋する熱海 贈呈	49
忘年会	50

IV 会員作品紹介

会員作句品紹介 会員リスト	51
会員26名投稿作品紹介	52

V 13年の活動を顧みて 御礼

人・施設	78
行政制度	

おわりに	久恒仰平	79
------	------	----

I. 熱海というまちと写真俳句

内 容

熱海というまち

熱海梅園と梅まつり

写真俳句ストーリーコンテスト」-1

写真俳句ストーリーコンテスト」-2

森村誠一先生と中村廣幸氏との出会い

森村誠一先生と写真俳句



大都会に近く新幹線が止まり、風光明媚の温泉地である熱海。年間を通して十数回花火大会も開催され、駅前、旧市街地の昭和通りには、鮮魚食堂、スイーツの店がたち並ぶ熱海である。コロナ期の後も早々V字回復し、令和7年の現在は若者たちであふれている。

江戸時代

徳川家康に愛され多くの大名、庶民に愛された江戸時代。御汲湯道中など熱海の温泉が江戸將軍家に運ばれ、庶民は宅配温泉を行い楽しんだ。当時人気の温泉番付では、別格行司役でその存在を知らしめた。

明治、大正時代そして昭和史初期

明治に入り政治家、文豪墨客が訪れた。明治政府は西洋化を推し進め、人気の熱海に、西洋の温泉医学を導入し温泉治療館・噺瀧館を建造し、隣接して大正天皇の為の熱海御用邸を建設した。この様にぎわった熱海だが、その背景には大きな努力が必要であった。

丹那トンネルの開通

それは、熱海の「交通の便の悪さの解消」である。人車鉄道、軽便鉄道などの努力は、関東大震災でむなしく壊滅してしまった。しかしその状況を180度変えてしまったのが昭和9年の丹那トンネルの開通であった。その後の発展はすさまじく、昭和39年の新幹線熱海駅の誕生へと繋がり、一時は“東京都熱海市”と言われるまでになった。



花火大会



湯汲道中図



噺瀧館



熱海御用邸



丹那トンネル開通



熱海梅園と梅まつり

コンテスト会場・温泉保養公園 熱海梅園



「温泉がよく病気に効くのは、ただその中に含まれている塩気や鉄精にはかり頼らず、適当な運動をするからである。もし、一日中室にいて、温泉に浸かっていたら飽きもし、疲れもして、養生にならない。・・・・・・」

(「熱海風土記」より)

熱海梅園は、梅を愛でながら、初川の清流や、軽い傾斜路をゆっくりと歩き運動する為の保養公園



保養・療養

明治18年

噶汽館・温泉療養施設
 岩倉貝視・長与専斎
 土地：今井半太夫

一對

明治19年

発案・長与専斎（衛生局長）
 出資・茂木惣兵衛 等
 土地・地元（1万坪）

明治政府は温泉治療館・噺瀧館の建設にあたり、長与専斎は渡欧し温泉政策、治療を研修。「衛生」の概念を日本に持ち帰り、初代衛生局長として腕を振るい噺瀧館の建設にあたった。館完成の翌年（明治19年）に現在の熱海梅園は開園した。西洋の温泉保養地学に基づいてのことであった。この歴史・由緒ある熱海梅園の梅まつり、それと同時に糸川沿に咲く「熱海桜まつり」をかね、熱海写真俳句ストーリーコンテストは開催された。



梅園まつり（1月～3月）

中央に清流「初川」が流れ5橋を渡りながら高低差を楽しみながら、梅、歴史遺産など眺め写真を撮り、俳句を詠みを楽しむ。



熱海梅園



熱海梅園
今昔

熱海写真俳句ストーリーコンテスト-1

第一回コンテスト（コンテスは4回開催）

熱海市観光協会は「熱海写真俳句ストーリーコンテスト」を平成26年～29年の4年間開催した。これは毎年開催される熱海梅園梅まつりで、熱海をこよなく愛し、長らく別荘を所有している小説家・森村誠一氏に依頼し始められたものである。森村氏は小説家としてだけでなく、「写真俳句の提唱者」としても先達的な存在であることから、これまで依頼していた「アタミステリー」（熱海ミステリー）の催しが終了したことも重なり、今回の企画に至った。

熱海梅園梅まつりで全国よりの来熱者を主な対象とし作品を募集、コンテスト形式で楽しもうというもので氏の講演会と共に表彰式等が行われた。



第二回コンテストチラシ

審査表彰式開催！



3月21日、熱海起雲閣にて第3回熱海写真俳句ストーリーコンテストの審査表彰式が行われました。

遠くは石川県、福井県から来られた入選された方々にお集まりいただき、来場者も審査に参加する対抗戦で優秀賞各部門5作品が選ばれました。そして、対抗戦後に



来場者による投票

熱海市長賞2作品、森村誠一賞1作品が発表されました。

熱海市長賞



森村誠一賞



熱海写真俳句ストーリーコンテスト-2

コンテスト 審査・表彰式 森村誠一先生記念講演会



会場風景（起雲閣・ギャラリー）



森村誠一先生



表彰式



斉藤栄市長



記念撮影



中村 実行委員長



森村誠一先生と中村廣幸氏との出会い

会設立の支援者たち

このコンテストの開催が 森村誠一先生、中村廣幸氏との出会いであった。それは会の組織づくりの強力な支援者となって頂くこととなった。

「熱海写真俳句撮詠物語」

中村氏は森村先生の写真俳句活動の積極的推進者で、ホームページプランナー。市町村、民間に働きかけその推進を支援している。今回のコンテストを通して知り合った市民16名が集い、写真俳句の会をつくろうという事となった。同氏の支援の下で設立準備委員会がつくられ準備が始まった。

まずは会名。 熱海、写真俳句、物語は入れたいとの意見に加え撮詠も加えたい。このすべてを入れると長過ぎないかの意見もでたが、これも捨てがたく「熱海写真俳句撮詠物語」と長い会名で決定した。

名誉顧問 森村誠一

またインパクトの強い看板が欲しいという事から、名誉会長に森村先生にとの要望を同席の中村氏に相談。「先生の許可は任せて」の同意頂きその後の話はほとんど拍子ですすんだ。

ホームページ

会の目的、活動内容の決定に関しても、写真俳句の内容、他の会の組織を熟知している中村氏のアドバイスを参考にすすめられた。中でもホームページの必要性が論じられ、これまたHPプランナーでもある同氏の全面的支援を頂いた。

これは当会の軸として、13年間あらゆる要素、活動の基軸となり、遠方会員が増えるに至ってはまさに必須のツールとなった。

これらの幸運な背景をもち、今後の具体的な組織づくりに向けても支援を得られることとなり、設立準備委員会の設立、会則の作成、「写真俳句の郷・熱海」推進プロジェクトの作成へと繋がっていった。



森村誠一先生と写真俳句

1+1=3以上の日常生活を楽しむ

2015年(平成27年)1月2
写真俳句のススメ



梅が香を煮つめる空や 星を溶き 森村誠一

「梅が香に のっと目の出る 山陰かな」という芭蕉句牌がある熱海市の梅の花。写真俳句コンテストのテーマにもなっている—熱海市、羽田弘志撮影

森村誠一 写真俳句のススメ

「凡句」を大切に
時に映像は「鋭像」

も、「一生懸命」だった俳句には、必ずその人自身しか発せない光がある。俳句から「アイヤ」を取り出せるか否か、それは、本人の感懐にかかっている。文芸の研鑽、言葉とは本来、磨きをかけてこそ美しい真像(「鋭像」)を叩くものです。その「鋭像」は時に「映像」を「鋭像」と称することもあ

熱海市の写真俳句コンテストの応募要項「熱海市の写真俳句コンテスト」をテーマにした俳句部門と、俳句部門以外の「俳句」を題材にした自由句部門の2部門。作品は熱海市観光協会のホームページを通じて送るか、郵送(〒411-0034 熱海市南町2018の8 観水公園内、熱海市観光協会(写真俳句係))で投稿。「五七五」の俳句と写真をセットにしたオリジナル作品で応募期間は2月28日まで。市内外を問わず年齢・国籍は不問。詳しく投稿方法や問い合わせは市観光協会(0567・85・2222)。



森村誠一
写真俳句の
すすめ



森村誠一
写真俳句の
旅



よくわかる
写真俳句

※ 本歌取り コンテスト時に行われた先生により行われた大切な記録(矢崎)



森村誠一



記事を読む



本歌取り

Ⅱ． 熱海写真俳句撮詠物語の設立

内 容

設立趣旨

基本コンセプト

「写真俳句の郷・熱海」推進プロジェクト

目的と活動

活動・準備資金確保への取組み

組織構成

広報への取組み

ホームページの設置



梅まつり期間中、梅園に可愛らしく咲くペチコート水仙

設立趣旨

「写真俳句の郷・熱海」への展望

平成25年当時、全国の平均年齢は、男性79歳、女性86歳。その内65歳以上は25%、熱海市においては40%となっていた。WHOは、2000年より「健康年齢」の基準を掲げ「元気な高齢社会」を見据えた。熱海は、強いブランド性、大都市圏に近い好立地性、文化、歴史、自然、産業、人材、気候、そして温泉などに恵まれることから「健康寿命日本一の熱海市」として十分すぎる素質を備えていることから、貢献の一助とならんと展望した。

一方、少子化の進行は、学校教育での情操の深まりと郷土への深い理解・関心を持つことが求められ、双方の交流が元氣な熱海の未来を形づくっていくこととなる。写真俳句を通して結ばれる故郷「写真俳句の郷」では、地域の担い手となる高齢者（生涯学習）と未来の担い手となる児童・生徒（学校教育）の育成と交流を基とし、世代を超え、男女の違いを超えた市民、広くは国民に対して、写真俳句を創作・普及していくこととした。

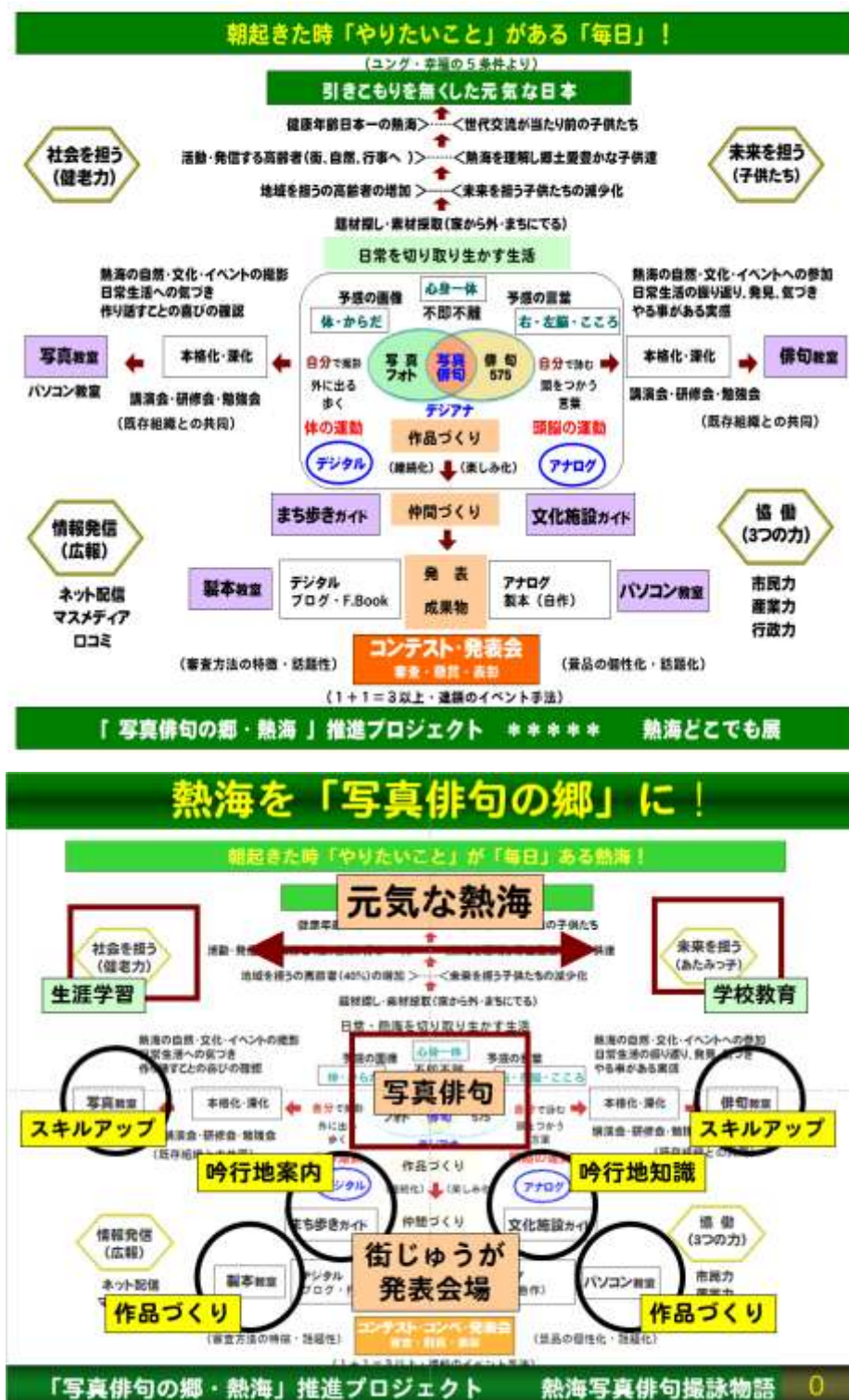
熱海は、その発信地・拠点地（郷、聖地、故郷、中心地、中核）を担い、写真、俳句に加え物語の3点セット「写真俳句物語」（写真・俳句・物語）を特徴（個性）とし、関連団体や産業と協働し、創作し発信ししての展開を目指し活動していきます。

熱海のいたる所に「写真俳句物語」が掲げられ、容易に何時でも参加、学習、応募できるまち「写真俳句の郷・熱海」を推進し、その構築母体として本会を設立し活動する。



基本コンセプト

「朝起きた時やりたいことがある毎日」を目指す



「写真俳句の郷・熱海」推進プロジェクト

基本コンセプトの具体化へ

「写真俳句の郷・熱海」推進プロジェクト

***** 熱海何処でも展示場 *****
***** 6 次 産 業 化 *****



***** <http://atamistory575.com/> *****

熱海を「写真俳句の郷」に！

写真俳句を通して

熱海に元気を！



熱海を元気に！

地域の担い手 — 写真俳句 — 未来の担い手
健康年齢・日本 — 写真俳句 — 郷土熱海・あたまつ子

「写真俳句の郷・熱海」推進プロジェクト

熱海写真俳句撮詠物語

0



記事紹介

写真と俳句で作る「写真俳句」に自分の“物語”を添える「写真俳句物語」の初心者講座が28日、熱海市昭和町の起雲閣で開かれた。市民ら30人余りが集い、「写真俳句ブログ」を管理運営する中村広幸さんと、俳人で編集者の山口亜希子さんから写真俳句の作り方や楽しみ方を聞いた。

写真俳句物語を熱海から全国に発信しよう一と、今年4月に活動

をスタートさせた市民らの団体「熱海写真俳句撮詠物語」の発足記念講座。中村さんは、同団体の名誉顧問で市内に執筆の拠点を持つ作家森村誠一さんの同ブログを主宰している。

講座では「熱海という素材があふれた場所で、日常に彩りを加えるためにぜひ写真俳句をやってほしい」と呼び掛けた上で、写真俳句ブームの立役者でもある森村さんの写真俳句の作り方を紹介。▽まずは日常から始める▽句材としての写真に芸術性はいらぬ▽予感が走った光景や場面を写真に収める▽文法は後にして五七五にまとめるなどをポイントに挙げた。

また「作ることが目的になると続かない。写真俳句は人生を楽しむ手段としてほしい」「タブーはない。まずは自分の思うままに写真を撮り、五七五を付けることから始める」といった森村さんの言葉を交え「まずはカメラを手に出して、日常を観察することを始めてみてほしい」と話した。写真俳句の基本やコツ、注意点なども説明した。

同団体は今後、月例の句会と吟行会を中心に、勉強会や展示会を催すなど、いつでも参加、学習、応募ができる“写真俳句の郷・熱海”を目指して活動を進める。月例句会に参加する会員に加え、全国各地の愛好者が参加して交流できるように、ネットで作品を投稿する会友（ネット会員）も募る。

【写説】中村さんから写真俳句の作り方、楽しみ方を聞く受講者＝起雲閣＝





目的と活動

会 則 （抜粋）

（名称）

第1条 本会は、熱海写真俳句撮詠物語（呼称・写真俳句物語）と称する。

（事務所）

第2条 この会の事務所は、熱海市梅園町に置く。

（目的）

第3条 本会は、自身が写真俳句を研修、親しむことを通し、多くの人々、団体（仲間間、世代間、地域間、業種間）と交流し、熱海情報を全国に発信、来熱者の促進を図る。また、行政、市観光団体、産業団体と協働し、各種イベント（季節イベント）を企画・開催し、観光都市熱海のイメージアップとまちづくりに寄与する事を目的とする。

（活動・事業の種類）

第4条 本会は、前条の目的を達成するために次に掲げる活動を行い次の事業を実施する。

- (1) 自らの写真俳句づくり研鑽に関わる活動。
- (2) 写真俳句の啓発、広報に関わる活動。
- (3) 関連団体との協働による合同プログラム、合同イベント開催等の活動。
- (4) w e b の作成、更新等の電子手段により全国への広報活動。
- (5) その他本会に必要とされる活動

（会員）

第5条 本会の会員は、第3条の目的、第4条の活動を理解し、賛同した個人、法人等によるものとし、次の3種類の会員より構成する。

- (1) 正会員は、本会の目的に賛同し入会した者とする。
- (2) 賛助会員は、この会の事業を賛助する個人、法人とする。

（会費）

第7条 会員は、以下に定める年会費を納入しなければならない。

（役員）

第10条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名、(2) 会計 1名、(3) 監査 1名 (4) 名誉顧問 森村誠一

（総会）

第13条 本会の総会は、正会員を持って構成し、年に1回開催するものとする。ただし、必要があるときは臨時に開催できるものとする。

（抜粋）

活動・準備資金確保への取組み

熱海市観光まちづくり事業費補助金

熱海市には市民の活動に対して観光基本計画に基づいての設立準備、活動に対しての補助金制度がある。この制度は市独特なものかと思う。書類、面接の審査があり報告義務も厳しいが、設立、活動の資金確保は、会の目的の明確化、市への貢献意識の向上を意識化を促進させる。

熱海市観光基本計画に基づき、新しい観光と地域づくりの観点から、地域の魅力をアップし、集客力を高めるまちづくりを推進する。熱海を個性的で特色ある事業を企画・実施し、将来的に事業の自立と継続を目的とする市民団体を支援するための補助金。（新規30万円、継続1-8万円、継続2-9万円 補助計47万円）

概要（例）

- 資格条件 団体は熱海市民を含む3名以上
- 対象事業 1年目「新規事業」2, 3年目「継続事業」の2部門 以後無し
4年以降は自立して継続
- 新規事業部門 既存事業に無い新たな発想。熱海の資源(自然・文化・歴史・産業・人材等)を活用した事業
- 継続事業部門 補助金を受けた事業の経験と実績を踏まえ、問題点、課題点を改善、又は新たな事業要素を付加
- 補助対象経費 活動人件費は認めない。必要経費のみが対象
- 事業補助金額 新規事業 上限30万円 継続事業（2年間）上限10万円
- 実施期間 補助金交付決定日から2021年3月30日
- 申請書受付 4月初から5月初め 観光経済課 観光推進室（一次）
- 審査日 申請書が通過したもの プレゼンテーションによる審査
これにより補助金額が決定される
- 報告義務 都度の催しの結果報告 年度末実績報告提出



左：提出書類 申請書用紙
右：第一回審査プレゼン
「写真俳句の郷・熱海」

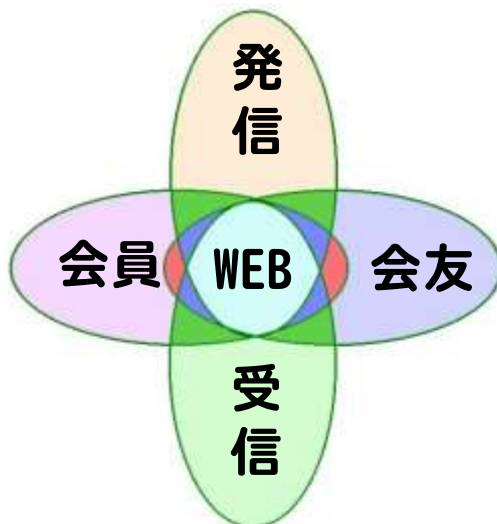
組織構成

WEB (HP)による組織構成と情報の発受信

個人を地域

市観光まちづくりの事業を、写真俳句にどう反映させていくのかを検討した。

- ①会員のスキルアップ活動を通して心身共の健康づくり促進。
- ②自作品の発表の場を多様にすることから創作意欲をアップ。
- ③基本コンセプトとそれに伴う「写真俳句の郷・熱海」に向かった組織づくり。



会員と会友

会員は熱海に在住し共に活動できる「会員」と遠方でWEBで共に活動する「会友」で構成し活動促進。

入会随時 正会員 見学者歓迎		
会員 (句会参加会員) - 応募作品輪読 - 天・地・人賞 - 各自5票投票 - 作品HP掲載 - 兼題発表 場所：熱海	月例句会 勉強会 吟行会 発表会 何処でも展 オフ会の促進 ネット参加・交流	会友 (WEB会員) - 応募作品投稿 - 各自5票投票(*1) - 用紙・電子投稿受付 - 会員ブログのリンク 場所：各地
関連活動 連携促進	スキルアップ & コミュニケーション http://atamistory575.com/	関連商品 制作販売
ホームページ 作品募集、選句、結果発表、スケジュール、情報発信		

陽よ登れ！潮流となれ！熱海発！

写真俳句の撮詠を通して、仲間と活動し外部支援をうけつつ多くを学ぶための組織づくりに努めた。熱海市民及び他市、他県に告知をどうするかを検討し活動を行った。

「ほくそ笑むいオンリーワンの小宇宙」

- ・ポスター、チラシの作成と配布
A2サイズのポスターを50枚作成、配布
困ったことに、協力頂ける場所がすくなく
多く張ることが出来なかった。
- ・熱海新聞、伊豆毎日新聞への記事掲載
- ・団体発足記念講座の開催

「陽よ登れ！潮流となれ！熱海発！」

2013年5月28日（火）起雲閣ギャラリーで
発足記念講座を行った。

当会より発足表明、組織の内容の説明後
 中村廣幸、山口亜希子両氏による写真俳句
 初心者講座が行われ予想を超える方々の出
 席を頂いたことに感謝している。

HPの開始と情報発信

(1) 第2356号 (昭和32年6月13日第1報新報社証可)

「写真俳句物語」楽しもう

28日に団体発足記念講座

市民有志

写真と俳句に作る「写真俳句」に自分の物語を添える「写真俳句物語」を通して、文芸的表現を養い、交流の場をもちたい。

「写真俳句物語」の先導として、熱海市市民有志会が、この団体発足記念講座を開く。内容は、写真俳句の歴史、俳句の歴史、俳句の表現方法、俳句の鑑賞方法、俳句の創作方法、俳句の発表方法、俳句の出版方法、俳句の活用方法、俳句の発展方法、俳句の未来展望など、幅広い内容で、写真俳句の魅力を伝える。この講座は、写真俳句の初心者から上級者まで、誰でも参加できる。また、写真俳句の発表会も行われる。この講座は、写真俳句の魅力を伝えるだけでなく、写真俳句の発展と普及に貢献する。この講座は、写真俳句の魅力を伝えるだけでなく、写真俳句の発展と普及に貢献する。

この講座は、写真俳句の魅力を伝えるだけでなく、写真俳句の発展と普及に貢献する。この講座は、写真俳句の魅力を伝えるだけでなく、写真俳句の発展と普及に貢献する。

「写真俳句コンテスト」を開催し、写真俳句の魅力を伝える。このコンテストは、写真俳句の魅力を伝えるだけでなく、写真俳句の発展と普及に貢献する。このコンテストは、写真俳句の魅力を伝えるだけでなく、写真俳句の発展と普及に貢献する。

このコンテストは、写真俳句の魅力を伝えるだけでなく、写真俳句の発展と普及に貢献する。このコンテストは、写真俳句の魅力を伝えるだけでなく、写真俳句の発展と普及に貢献する。

このコンテストは、写真俳句の魅力を伝えるだけでなく、写真俳句の発展と普及に貢献する。このコンテストは、写真俳句の魅力を伝えるだけでなく、写真俳句の発展と普及に貢献する。

この講座は、写真俳句の魅力を伝えるだけでなく、写真俳句の発展と普及に貢献する。この講座は、写真俳句の魅力を伝えるだけでなく、写真俳句の発展と普及に貢献する。

この講座は、写真俳句の魅力を伝えるだけでなく、写真俳句の発展と普及に貢献する。この講座は、写真俳句の魅力を伝えるだけでなく、写真俳句の発展と普及に貢献する。

この講座は、写真俳句の魅力を伝えるだけでなく、写真俳句の発展と普及に貢献する。この講座は、写真俳句の魅力を伝えるだけでなく、写真俳句の発展と普及に貢献する。

この講座は、写真俳句の魅力を伝えるだけでなく、写真俳句の発展と普及に貢献する。この講座は、写真俳句の魅力を伝えるだけでなく、写真俳句の発展と普及に貢献する。

この講座は、写真俳句の魅力を伝えるだけでなく、写真俳句の発展と普及に貢献する。この講座は、写真俳句の魅力を伝えるだけでなく、写真俳句の発展と普及に貢献する。

この講座は、写真俳句の魅力を伝えるだけでなく、写真俳句の発展と普及に貢献する。この講座は、写真俳句の魅力を伝えるだけでなく、写真俳句の発展と普及に貢献する。





ホームページの設置

会の充実、情報交換、活動報告、市広報

どうする？

会員同士だけの活動であればホームページ（HP）の必要性はないと思う。HPの立ち上げには資金を始め、専門の技術と知識が必要であり、長い期間運営するにも技能と努力が必要となる。従って多くの団体は持つことはできない。専門家への委託は、初期、維持の費用で対象外。なんとか団体内で対応するしかないのだが。

設置へ

当会の目的、組織の性格からすると必要であるとの結論から設置することになった。しかしその背景には、写真俳句コンテストの中村主催者がHPのプロであり、全面的に支援頂けるとの事があった。初期費用なしでの制作が可能とはなったのだが、その後の運営をどうするかが次の問題。会員ができるのだろうか？ これも中村氏の指導を頂けることから、矢崎会員がHPの運営担当となりそのまま13年間おこなった。

HP設置の理由

本会設立の目的を遂げる

- ・ 本会は、写真俳句を研修、親しむことを通し広く交流する。
 - ・ 作品を通して熱海情報を全国に発信、来熱者の促進を図る。
 - ・ 行政、市観光団体、産業団体と協働し、各種イベントを開催し観光都市熱海のイメージアップ、まちづくりに寄与する。
- （観光まちづくり補助金受取の条件）

- ・ 会の活動促進、情報発信
- ・ 会員間の情報共有
- ・ 会友（WEB会員）の会活動促進、募集。（句会投稿、会情報等）
- ・ 活動予告、報告の必要性
- ・ 活動記録、活動の軌跡を残す

そして現在

13年間の活動を通し、このHPの存在は大きく、なければ会の継続はできなかった。また、この冊子もできなかった。

HPの運営は文章、画像が報が集積し保存され残る。また遠方よりの指導を受けての運営もできる。このデジアナ本の作成、維持も可能だ。



HP





Ⅲ. 熱海写真俳句撮詠物語の活動

内 容

月例句会
天・地・人賞とHPへの掲載
月 報
吟行会
ホームページの運営
写真俳句作品展 = 13年の歩み =
起雲閣ギャラリー展
起雲閣和室展
web展
熱海新聞優秀賞展
熱海ヒストリア・575コンテスト
熱海どこでも展 仲見世通り展
蕎麦処多賀展
ウェルシテイー湯河原展
熱海梅園梅まつり展
熱海新聞優秀賞 月間掲載
ホテルミクラス展
市民教室
総会
熱海写真俳句撮詠物語 2018年カレンダー
写真俳句小説 恋する熱海 贈呈
忘年会

月例句会

第三月曜日 10時～12時 起雲和室にて開催

開催内容

1. 提出

会員はあらかじめ決められた用紙（会名、年月、番号枠）A4用紙を使い 5作句品/人を提出

2. 選句

各自5作品を選出、用紙に記入し提出。

3. 集計・天地人賞の決定

集計し選定

4. HPへの掲載

会終了後、帰宅しHPに掲載



*当初、作品を部屋周辺に並べ選句していたが、その後、作品を何組かに分けテーブル上にて、数回廻し選句した。

*10年目までは熱海に在住しており熱海会場で行っていたが、状況が変化し、11年目以降はWEB上にて全てを行った。会員はメール、封書にて事務局に送り、事務局はそれを集計しHP上に番号を付け公開。その番号を5句選句し事務局へ、それを集計しHPの順番を入れ替え天地人賞として発表した。



投稿作品例（縦・横）



当初床に作品を置き、回りながら選句



その後は、参加者毎に作品を分け数回廻し選句

天・地・人賞の決定とHPへの掲載

決定、掲載、広報

選句作品を集計し上位から天賞、地賞、人賞としてHPに掲載。また投稿作品には、これらのシールを貼り年度末にまとめて返却した。

選句後、熱海新聞・優秀賞を選び熱海新聞社に投稿、112カ月にわたって毎月掲載頂いた。また、松永様には選句と特選2句、入選3句を選んでいただきHPに掲載、作句小見と共に「月報」にも掲載した。

HP及び印刷作品にはこのシールが貼られる



熱海新聞掲載



松永選者による選出



投稿作品にはシールが貼られ返却 例



HP掲載例



月報は初会から計画的に発行

掲載内容

1. 天地人賞の記録報告

HPに掲載していたが、書面でまとめて欲しいとの要望があり、簡単なものを作成していたが、次第に詳細（点数、俳号など）を掲載するようになった。

2. 熱海新聞・優秀賞の発表と掲載

3. 今後の予定 来月句会日等の予定 展示会、総会などの情報を掲載

4.特選、入選、作句小見

会員の更紗さんのご紹介で、俳句仲間の松永房子様が無償にてご協力頂けることとなった。

2020（令和2年）6月より2025（令和7年）まで5年3カ月（63ヶ月）もの長きに渡り、俳句の講評（特選、入選）を賜り、月報に掲載させて頂いた。

令和7年4月25日
熱海写真新聞掲載作品
会誌「俳句の春」
発行所：熱海写真新聞発行所 〒411-1121 静岡県熱海市
TEL:055-911-1121 FAX:055-911-1122

令和7年4月の天・地・人賞発表
報 告 書・通 報

今回も多くの作品をありがとうございました。今月の句会の結果は下記の通りです。
有明通の歌本様よりお礼。入選句を選んで頂いています。ご参加に感謝の意を申し上げます。

今月句会選句結果

題名(部・種別)	全題7年4月21日(日)	第1回・第2回	選句者氏名(4月1日)
天・地	11句	天賞(得点4点) 1句 地賞(得点3点) 1句 人賞(得点2点) 1句	天賞(得点4点) 1句 地賞(得点3点) 1句 人賞(得点2点) 1句
天賞	1句	1句	1句
地賞	1句	1句	1句
人賞	1句	1句	1句

特選・入選 1句
特選(得点4点) 1句
入選(得点3点) 1句
特選(得点4点) 1句
入選(得点3点) 1句

選句方法：句会出席者多数・入選者多数(100%)以上の選句・特選選句(投票率)の点差です。
入選の得点点は10点です。

選句 第1回選句 第2回選句 第3回選句 第4回選句 第5回選句 第6回選句 第7回選句 第8回選句 第9回選句 第10回選句
第11回選句 第12回選句 第13回選句 第14回選句 第15回選句 第16回選句 第17回選句 第18回選句 第19回選句 第20回選句

**** 次回予定・選句率 ****
全題7年4月 句会 総会
日程：5月19日(第3回選句) WASH 70点

熱海写真新聞掲載作品 (2025.4.1)

まみちとまみちをめぐりての春風、緑の春風、まみちの春風。

俳句賞
松永房子様
(会誌発行者に送られ会誌に掲載されます)

題名	作者	俳句・講評
14 特選	松永房子	春風とまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風
13 入選	松永房子	春風とまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風
12 俳句	松永房子	春風とまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風
11 俳句	松永房子	春風とまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風
10 俳句	松永房子	春風とまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風
9 俳句	松永房子	春風とまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風
8 俳句	松永房子	春風とまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風
7 俳句	松永房子	春風とまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風
6 俳句	松永房子	春風とまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風
5 俳句	松永房子	春風とまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風
4 俳句	松永房子	春風とまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風
3 俳句	松永房子	春風とまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風
2 俳句	松永房子	春風とまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風
1 俳句	松永房子	春風とまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風 まみちとまみちをめぐりての春風

俳句小見
今回は2025年の句会についてお話をします。
春の風はまみちをめぐりての春風。→「春」と「まみち」がキーワード。
「春」と「まみち」がキーワード。→「春」と「まみち」がキーワード。
「春」と「まみち」がキーワード。→「春」と「まみち」がキーワード。
「春」と「まみち」がキーワード。→「春」と「まみち」がキーワード。
「春」と「まみち」がキーワード。→「春」と「まみち」がキーワード。
「春」と「まみち」がキーワード。→「春」と「まみち」がキーワード。
「春」と「まみち」がキーワード。→「春」と「まみち」がキーワード。
「春」と「まみち」がキーワード。→「春」と「まみち」がキーワード。
「春」と「まみち」がキーワード。→「春」と「まみち」がキーワード。
「春」と「まみち」がキーワード。→「春」と「まみち」がキーワード。

熱海を中心に近隣市町を訪問 7年間45回を開催

吟行会は、熱海の各地域を巡る中で俳句をつくり、HP、熱海どこでも展、展示会等で発表することを目的に行った。熱海広報支援の一端にしたいと思いからである。

吟行会は平成25年の発足月から令和元年迄の7年間で45回開催した。吟行地は回数を重ねるにつれて熱海以外の場所へと広がった。当初の熱海での吟行という目的と異なってしまったが、別の目的である、会員の健康、交流には良き機会となり貢献できたと思う。

また市外の吟行地とはいえ、関連の深い縁のある場所も多くあり、それらと熱海の関係性を紐解く機会ともなった。





ホームページの運営

天地人賞発表・熱海新聞優秀賞・ホテルミクラス月間展 他

作品スライドショー

会・写真俳句とは

天・地・人賞発表

熱海新聞優秀賞発表

ホテルミクラス展

時事の記事内容

- ・ニュース
- ・会員発表
- ・コンテスト情報
- ・新聞記事
- ・その他

サイドバー内容

- ・森村誠一先生
- ・カテゴリー
- ・本の紹介
- ・イベント動画
- ・その他



写真俳句と熱海は相性がよい。美しい風景の三要素は水と山と緑である。熱海は三要素をすべて備えている上に、田舎、温泉が豊富で交通の便がよい。つまり、写真の被写体と俳句の素材として完璧である。

熱海写真俳句鑑賞物語
名鑑編輯 森村誠一

発表作品・作品展示会

- 天・地・人賞
- 熱海新聞優秀賞
- ホテルミクラス展



森村誠一作品協力、中村誠一監修の
写真俳句入門の入門書が刊行されました

第11回熱海写真俳句鑑賞物語展
示会-2023



過去・2013年展示会風景



* 当HPは、合) ウーニクス (中村) 様のご厚意で閉会後も維持



ホームページ



写真俳句作品展 = 13年間の歩み =

起雲閣展10回、WEB展3回 計13回を開催

初年度より最終13回まで展示会を行ってきた。環境の変化、高齢化などから会場こそ変わりましたが、欠くことなく続けた。

- 1回～3回 起雲閣2階ギャラリー展
広く、他の写真クラブとの合同展
- 4回～10回 起雲閣和室展
会員数も減ったことから移動
- 11回～13回 WEB展 (HP上展)
開催できる会員が熱海不在に。



第1回



第2回



第3回



第4回



第5回



第6回



第7回



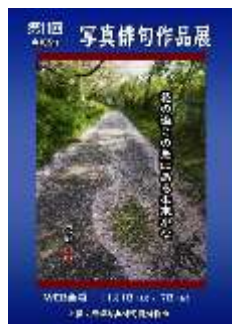
第8回



第9回



第10回



第11回



第12回



第13回



YouTube
be放映



13年間
展示会

写真俳句作品展 =起雲閣ギャラリー展=

初年度から3回まで 起雲閣2階のギャラリー開催

初年度から3年度までの展示会は、南熱海写真同好会との合同展で行った。会場が広がったこともあるが、合同で行う事のメリットは別の会の見学者も来られ、結果相乗的な成果がある。また会員のモチベーションのアップ、費用分担にもなることから今後も行っていきたい方法である。会場では会員作品以外に関係本、多種の写真立て、展示会用動画も準備された。

南熱海写真同好会展・熱海秘ストリア五七五展 合同展・案内図



写真俳句作品展 =起雲閣ギャラリー展=

起雲閣2Fギャラリー会場展示風景（初回～3回まで、写真CL合同展）



期待の展示場を演出



森村先生が迎えてくれる



会場入口部の展示



奥に写真クラブの展示場



はがき写真俳句のモビール



AVコーナー



写真俳句作品展 = 起雲閣和室展 =

起雲閣1F 和室会場展示風景 (4回～10回まで)



伊豆毎日新聞 H30. 10. 27

起雲閣で作品発表会

第6回写真俳句展示会開く

熱海写真俳句会館(英崎英夫代表)では、29日(月)～30日(火)の2日間、起雲閣の間で第6回写真俳句展示会を開く。

開催時間は、29日が午前11時から午後5時、30日は午前9時半から午後4時。市民、観光客多くの来場を歓迎している。問合せ等は英崎代表(電話・FAX 0557-486197)まで。

2018・第6回
写真俳句展示会

起雲閣 3 階
10月29日(月) 30日(火)
11:00-15:00 13:00-16:00

主催：熱海写真俳句会館

第6回の同展示会開催チラシ

市 長 室

エービス(電話 866200 FAX 866199)まで

「特」なし



13年間
展示会

10回～13回までのWEB展（11回～13回まで）

熱海不在

熱海の定住会員がいなくなったこと、事務局が移住し離熱したことから、起雲閣での展示会ができなくなり検討した結果、HP上にて行うのはどうかと決定した。

また、PDF版、動画をHPに掲載し印刷本を会員に配布し補足とした。



第11回

WEB展



第12回



第13回



11回展示会YouTube



13年間
展示会



写真俳句作品展 = 熱海新聞優秀賞展 =

掲載40回を記念して第7回作品展に併設展示

9年4カ月にわたり毎月掲載頂いたことは、想像以上に大きな力を頂いたと感謝しつつ、今までの展示会を思い出す。いつか何かの形で御礼できないかと思っていたが、第7回時、掲載40回であったことから、それを記念し開催した。

A3額横に2枚、40作品を額に収めた。

今思うと全体の1/3にあたる数だが、ご覧の通り部屋一杯、112作品とても掲示しきれない。



展示室入口 奥の6畳間展示の様子



第7回展示会



6畳間展示の様子



第7回
展示会

熱海ヒストリア・五七五コンテスト

2014～2015年にかけて 5 回開催

熱海ヒストリア・五七五コンテストは、2014（H26）から次年にかけ5回行われた。

目的は、観光協会主催の「熱海写真俳句ストーリーコンテスト」の間を縫って3カ月に1回、年3回応援開催すること。景品は市内の支援者より、市内のみで使える商品を心掛けた。

表彰 撮詠大賞 1 名、撮詠賞 2 名、奨励賞 3 名

賞状 表彰状（三種）

主催 熱海写真俳句撮詠物語

後援 市観光協会 MOA美術館

協賛 多賀そば食事券、間瀬の和菓子、MOA美術館鑑賞券、観光協会入浴剤、酒井恵理子画伯はがき



2014年ポスター



2014年ポスター要項



2015年ポスター



賞状例



HP掲載例



ヒストリア
・575



2015チラシ



2014チラシ

仲見世通り展 熱海どこでも展

平成25年(2013)4月～平成27年 (2015) 11月 (2年2カ月26回)

熱海駅前広場に面して2つのアーケードがある。その一つが「仲見世通り」で賑わっている。この通りにレストラン・売店・ギャラリー「藍花」を営む富村様に紹介して頂き、2年2カ月の期間、毎月8作品・計208作品を展示させて頂いた。多くの観光客、市民の皆様にご覧頂けたことに感謝している。熱海どこでも展の催しとしては最適な場所であった。商店街の皆様にご感謝です。



サイズ A3アルミ額
展示数 8作品 展示総数208点)
展示期間 2013年4月～2015年11月

✿ 熱海駅から海に向かった小高い丘の上に熱海が誇る重要文化財・旧日向家熱海別邸がある。その保存広報活動を富村様と共に行った。そんなことからの紹介。熱海はこうした繋ぎの強い街である。



仲見世通り展



藍花HP

208作品の仲見世通りでの展示会

仲見世通り商店街のアーケードには、中央に休憩用のベンチと掲示板がセットで存在し、分離帯ともなっている。その記事版にA3額を張らせてもらった。

作業は月初め会員を動員し8作品の額の入替えを行った。

季節を読む写真俳句は、この場所に馴染んでいた。休憩の方々が話題にしてくれている様子を今でも思い出す。



早朝の仲見世通り商店街 昼間は観光客で溢れる

96作品を玄関前待合での展示

蕎麦処多賀の店舗は、豪商・大井五左エ門の築約200年の建物。家主日向利兵衛（実業家）は、旧日向別邸の工事に来熱していたドイツの建築家ブルーノ・タウトを監督に依頼し、昭和5年にここ多賀に別荘として移築したもの。タウト設計の椅子、机があり見せて頂いた。そんなことから知り合いとなり、展示させて頂くこととなった。

サイズ A3アルミ額
展示数 4作品（景48作品）
期 間 2014年4月～2015年3月



森熱海市には世界遺産の建築家タウトの「旧日向別邸」があり公開させている。



ウェルシティー湯河原展 熱海どこでも展

72作品をレストラン前展示コーナーにて展示

ホテルの展示は、植村会員の紹介で始まった。湯河原町の泉公園の近く千歳川を橋で渡った先にあり川のせせらぎを感じる瀟洒なホテル。玄関を入ると吹き抜けのホールがありその階段を上ったレストランの前の展示コーナーでの展示。地域の人々の趣味の作品が展示されている。その一角の展示であった。



サイズ A3アルミ額
展示数 6作品（計72作品）
期 間 2014年8月～2015年7月



梅まつり祭り公園入口脇にある東屋

熱海梅園梅まつりの期間、梅園入口にある、公園課の許可を受け、休憩スペースを使わせて頂き作品展示を行った。東屋であるこの休憩スペースは、普段はオープンだが、梅まつりの期間は風雨・寒さ対策でビニールシートで囲いをつくる。その中での展示であった。一度は風が強く被害にあったことを思い出す。



サイズ A3アルミ額
展示数 18作品(全56作品)
2016年～2018年の祭り期間

梅まつりの間3年間の展示になった。風に揺れ安定感はなかったが、休憩場所で良く見て頂いた。



2016-6月～2025-9 9年4ヶ月（112回）掲載

活動意欲の向上と、活動内容を市民、伊豆地域の人々に広く知って頂く為、毎月掲載してもらおうと熱海新聞社に出向いた。2016年4月の例会直後のことであった。

社を訪ね依頼、即快諾頂きと掲載方法について打ち合わせを行った。縦写真と横写真の2タイプを決定し、「優秀賞」として毎月末までに掲載頂くこととなった。

熱海新聞には、第三週の月曜日に行われる句会に天・地・人賞と共に「優秀賞」を選出し、俳句・写真・物語をメールにて送信、新聞掲載となる。その数は112回（ヶ月）となった。デジタル版もあり、こちらはカラー写真の掲載となった。

毎月の掲載は会員にとって、想定通り活動意欲が促進れ、楽しみとなり感謝している。掲載を見ての市民からのご連絡も多数頂き励みになった。

伊豆新聞デジタル 2024 9月24日 火曜日
熱海写真俳句撮詠物語 9月句会 優秀作・小野椋花さん



■罪のなき命を悼み所懐記

伊豆市の平和記念資料館を訪れ、所懐の悲愴さを痛感しました。新しい朝を迎え、夏気候々と雲霧のある一日を送り始めた人間に、突然迎にされた悲劇。一瞬にして死に至らしめられ、重傷を負い西しみながらくらられた方の無念さを思うといたたまれな気持ちになります。陣痛の日に懐心地の元安川の灯籠流しに参加し、川面を流れる鎮魂の光に、永遠の平和を願って参りました。

熱海新聞 2016 平成28年6月29日（水）



穏やかなリズムに合わせ花菖蒲

優秀作 矢崎 歩人さん

熱海写真俳句撮詠物語

伊豆新島寺・虹の郷。梅雨晴れ間の金曜日。毎月定例の「フォト吟行」が行われた。普段は市内であるが、今回は「花菖蒲」を撮影したいとの会員の希望であった。広い園内に、今が盛りと色とりどりの花菖蒲が咲き誇る。そんな美の片隅、かわいらしい水車が穏やかなリズムを奏でている。その回転がわずかな風を起こしているのだろうか？ 庭りの花々がリズムに合わせ揺らぎ華やいている。人々の心は古へと遡かれ、郷愁に包まれ癒やされていく。

写真俳句の優秀作品紹介
熱海市「中谷」本部代表「はなみ」俳句吟行の例会の中で、優秀作を決定する。俳句のつづき、選を行い、優秀作を決める。俳句のつづき、選を行い、優秀作を決める。俳句のつづき、選を行い、優秀作を決める。

2016年6月29日（初回号）



9年4ヶ月（112回）



2025年9月25日（最終号）

熱海新聞 令和7年（2025年）9月25日（木曜日）



秋茜「句会開じる」の便り有り

熱海写真俳句撮詠物語

優秀作 久恒 仰天さん

相愛わらずの雲さ。会員の数が減り続ける状況で「閉会」は歌し方なし。私の家の近くにお住まいであった森村一さんとのご縁で例会に入会した。そのご縁も、公園の前の花壇に秋茜（アキアサキ）が留まる残照の秋の日の出会いからだった。写真はその前日、十国峠に出向いたときの秋茜。晩秋の寂しさを感じてしまう。



優秀賞



ホテル ミクラス展

平成30年5月～令和5年5月 5年1カ月（61回）展示

写真俳句コンテストを機に知り合った鈴木浩治部長に依頼。即趣旨をご理解頂き月代わりで展示して頂いた。

ホテル側にて写真作品を印刷、展示までして頂き感謝。

サイズ A3（額はホテルにて対応頂きました）

展示数 6作品（合計366作品）

展示場所 ホテルエントランスホール、会員ラウンジ

展示期間 2018年5月～2023年5月（61回）

* ホテルミクラスは閉館致しました。



エントランスホール



会員ラウンジ



森村誠一先生コーナーも常設

感謝本を贈呈



展示作品を製本し感謝贈呈



会員ラウンジ 森村先生の出版本、月間・写真俳句コーナー（提供：中村廣幸）

ホテル ミクラス展

作 品 展



※ ホテル展示ということから細かい文字（物語）を省略し、写真俳句とした

市民教室

第三月曜日 10時～12時 起雲和室にて開催

熱海市の生涯学習課は、毎年前期と後期に分け6回程度の市民教室を開催している。市民、団体から講師を募集し、市が受講者を募集（10人ほど）し開催するというもの。熱海市の各所で開催される。市民の生涯学習を促進し、引きこもりのない積極的な健康生活の促進を図るのが目的。新規の講師の場合は、終了後団体をつくり継続することを推奨している。

当会も、会のアピール、会員募集を目的に申込み開催した。

市民教室 「写真俳句」スケジュール、内容

2014-6-13

写真俳句初心者教室		時間 午前 10 時～12 時 2 時間
		場所 いきいきプラザ 6 階・第一会議室
回	開催日・やること	内容
1 回	6 月 13 日(金) 写真俳句について	自己紹介、教室でやること、写真俳句雑談 概要と事例（森村作品、句会作品、等） ＜準備品＞ カメラ、記録用具
2 回	6 月 27 日(金) 写真の基本	カメラ、撮影法等、データー処理方法等 3K（角度、距離、構図）実施撮影会 ＜準備品＞ カメラ、記録用具
3 回	7 月 11 日(金) 俳句の基本	575 の実際、作り方のポイント 写真俳句の俳句 森村写真俳句 写真をみて俳句を詠みあう ＜準備品＞ カメラ、記録用具
4 回	7 月 25 日(金) 写真俳句吟行	撮詠会（吟行会）現地にて 熱海を吟行 写真俳句的写真の実施（3 人に一人が -ター-） ＜準備品＞ カメラ、記録用具
5 回	8 月 8 日(金) 写真俳句句会	句会（作品をもちよって選り合う） 吟行の写真に俳句をつけて提出してもらう 天・地・人賞選り ＜準備品＞ カメラ、記録用具
6 回	8 月 22 日(金) 写真俳句生活を楽しむ	写真たての作成 自分の作品を飾る できた作品で生活で彩る フォトアルバムの作成 ＜準備品＞ カメラ、記録用具
	その他	＊ 撮詠物語で教室をすすめる。 ＊ 製本教室の協力を得る ＊ 協賛 南熱海写真同好会？ ＊ 写真俳句作品の成果物（A4）案 ＊ 写真俳句のスタンド（はがきサイズ）案

撮る・詠む・語る作品を日常生活で楽しむ

写真俳句生活超入門

平成26年度「写真俳句教室」を全6回開催した。皆さんとても和やかに受講いただき、良き講座となりましたこと感謝している。

1回目は、話と共にカメラをいじってみた。**2回目**は写真撮影について講師をお願いし行った。何時ものアングルと少し異なった方向で写すと主役がハッキリとし詠みやすくなります。**3回目**は、当会の講師級の凜会員が行い大好評だった。**4回目**は吟行、雨を考え屋内である起雲閣（市文化財）で撮影。**5回目**は規定用紙に写真俳句を作り、選句会を和気あいあい行いました。最後の**6回目**は、主催者側で写真立てキットを用意し、はがきサイズの作成作品をおさめ完成。自宅に飾ることとし終了しました。深くはありませんが、全体像理解いただき、楽しく終わることができた。



吟行は起雲閣へ

講座風景



受講者の作品

今年度事業を中心に予算づくり

熱海写真俳句撮詠物語 第2回通常総会議案書（案）

総会次第

- (1) 開会の辞、経過報告
- (2) 議長選出
- (3) 議事録作成 (4) 議 事
 - 1号議案 第2期活動報告、事業承認の件
 - 2号議案 第2期活動事業会計収支報告承認の件
 - 3号議案 第2期監査報告承認の件
 - 4号議案 第3期事業予算収支計画（案）承認の件
- (4) 閉会の辞

1号議案

第2期活動報告、事業承認

活動報告

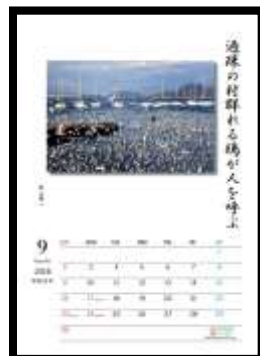
平成26年4月1日～平成27年3月31日

4月	第二期通常総会 4月句会、フォト吟行会、HP更新、第一回コンテスト 熱海どこでも展
5月	5月句会、フォト吟行会、HP更新 熱海どこでも展
6月	6月句会、フォト吟行会、HP更新、第一回コンテスト結果発表
7月	7月句会、フォト吟行会、HP更新、第二回コンテスト 熱海どこでも展
8月	8月句会、フォト吟行会、HP更新 熱海どこでも展
9月	9月句会、フォト吟行会、HP更新、第二回コンテスト結果発表 熱海どこでも展
10月	10月句会、フォト吟行会、HP更新、第三回コンテスト 熱海どこでも展
11月	11月句会、フォト吟行会、HP更新 熱海どこでも展 作品展示発表会（熱海秘ストリア五七五展 2014）（20,21日）
12月	12月句会、フォト吟行会、HP更新、第三回コンテスト結果発表 熱海どこでも展
1月	1月句会、フォト吟行会、HP更新 熱海どこでも展 熱海どこでも展（熱海梅園展）
2月	2月句会、フォト吟行会、HP更新 熱海どこでも展、熱海梅園展
3月	3月句会、フォト吟行会、HP更新 熱海どこでも展、熱海梅園展 熱海市観光協会主催：熱海写真俳句ストーリーコンテスト支援

＊ ■ 第一回コンテスト ■ 第二回コンテスト ■ 第三回コンテスト

熱海写真俳句撮詠物語 2018年カレンダー

会員作品の活用・商品化



観光協会HPに連載された写真俳句小説

熱海写真俳句ストーリーコンテストの期間、熱海市観光協会のホームページに50回シリーズでこの写真俳句小説「恋する熱海」が連続掲載された。作者の斎藤牧子さんは、森村先生の愛弟子で中村氏グループの一員。長編の熱海写真俳句物語である。情報取材では当会も多少ですがお手伝いできた。

HP (WEB) 上での連載であったので、製本し斎藤さんに感謝の贈呈とした。



B5サイズ、カラー製本
160P



忘年会

思い出深い発足年の忘年会



発足年での忘年会 KKRホテルにて関係者の多くが集い祝った。
皆若く元気な姿をみせている。懐かしい思い出
忘年会は初年度こそ華やいだが、徐々に下火になったのが残念

IV. 会員作品紹介

紹介会員リスト

俳号	氏名	NO	俳号	氏名	NO	俳号	氏名	NO
仰天	久恒仰平	▶01	更紗	久喜聖子	▶02	里	小宮 里	▶03
驟雨	鈴木ゆり	▶04	木練	吉田圭一郎	▶05	蝶花	小野早苗	▶06
忠彦	堀江忠彦	▶07	歩人	矢崎 英夫	▶08	榮一	杉山榮一	▶09
和子	成川和子	▶10	左近	植村佐与子	▶11	文吉	山田文吉	▶12
恵果	小柳由美子	▶13	三茶	小柳定治郎	▶14	凜	古田 凜	▶15
指月	松原千代子	▶16	日和	片山文栄	▶17	方葉	大野とよ	▶18
良太	小松良太郎	▶19	楽亭	秋山泰佑	▶20	雅子	遠藤雅子	▶21
通	笠原通	▶22	春雪	不明	▶23	早苗	服部早苗	▶24
松井	伊豆見富士男	▶25	美佐子	秋本美佐子	▶26			



13年間の句会、吟行会、展示会などの活動を多くの会員と一緒に作り上げてきた。中にはとても短期間会員もいましたが、多くの思い出を残してくれた。

現在記録に残っている会員作品を二点掲載した。

作品は展示会に作った整えたものもあったが、あえて会の原点である選句番号の入った「句会投稿作品」をそのまま掲載した。また選句は当方に一任させて頂いた。



✻ 熱海梅園では、毎年皇室に紅白の献上梅を奉納しています。



梅が満開。
突然 季節はずれの寒が降り出した。
背庭に路の曇が。
少し早いが始めるか。



路の曇佃煮に変へ酒を酌む

熱海写真俳句撮詠物語 兼題：自由 令和7年3月句会 No.

6



急な轟音
穏やかな夕焼け空に雷。
黒い雲が湧き出した。

霹靂や多賀の草堂蔽ひたり

熱海写真俳句撮詠物語 兼題：自由 令和7年6月句会 No.

27

人賞

愛でる楽しさは、フレンチも同じ。真鶴でとれた新鮮な金目鯛の横にはスナップエンドウ。豆が弾けた様に添えられており、白い皿からは、ドレミの歌が聞こえてくるようでした。



神奈川県・真鶴町

エンドウの弾けて跳んでドレミファソ

熱海写真俳句撮詠物語 兼題：自由 平成 25 年 9 月句会 No.

11

人賞

憧れの石畳は歩きにくく、思わず靴を脱ぎ捨てました。足裏には、ほんのり陽の温もりが伝わります。裸足で歩くなんて、久しぶりのこと。ちよっぴり少女の気分になりました。



熱海市・海光町

遠き日の少女に還る裸足かな

熱海写真俳句撮詠物語 兼題：自由 平成 25 年 10 月句会 No.

5



起きぬけ雨戸を開けると
又いつもの雨蛙昨夜は
花の橋で中そう休みをい



しのりめや 橋^{しとぬ}
ふかふか
雨蛙

熱海写真俳句撮詠物語 兼題 長閑所 平成26年7月句会 No. 28

小さな池にこの輪が浮かんで居る
友人に聞いたが今もい
池が静まらずに



春立つやこの輪の不思議
今もい

熱海写真俳句撮詠物語 兼題：自由 令和7年2月句会 No.

14

兄妹の宝さがしや小春の日



お寺で行われたマルシェに出かけました。
兄は小学生になりましたので、お小遣いで
絵本とビー玉を購入。
妹にも何か買ってあげようとしているところ
です。

熱海写真俳句撮詠物語 兼題：自由 令和6年12月句会 No.

父母も弟も老ひたり百日紅



この夏、十日ほど、京都の弟の家に滞在しました。
私たち姉弟の仲は良いほうだと思います。
五歳の差がありますから、彼自身も記憶のない。彼の
幼少期を私は知っているのです。
両親も高齢になつてきましたが、家族とは良いものだ
と思います。

熱海写真俳句撮詠物語 兼題：自由 令和7年7月句会 No.



こし方の恋の切なき夕桜

夕方の桜並木を歩く度にいつも胸が張り裂けそうに切ない思にかられる。自分が歩んできた過去の出会いのせいでわかっていても何故かついつい夕桜の道に足が向いてしまう。

熱海写真俳句撮詠物語 兼題：自由 令和7年4月句会 No.

14



青年の真白き大志花卯木

はなうつぎ

毎年この花卯木の咲く5月の連休時期に孫がやってくる。少年時代は、この花卯木の白い花と戯れ、白い初夏の光にまみれて帰って行ったものだ。その孫も今年春に大学生になった。残念ながら入学時のオリエンテーション等で忙しく、今年は花卯木の咲くこの時期には来れなくて少し寂しい思いはしたが、初夏の柔らかな風に舞い散る花卯木の中で、少年から青年になった孫の輝く未来を、白く舞い上がる花卯木の花と重ね合わせ暫く行んでいた。

熱海写真俳句撮詠物語 兼題：自由 令和7年5月句会 No.

5

家の近くの田園に、まっすぐに農道がついています。
朝の散歩コースなのですが、まっすぐな道を見ると、
五十メートル走を思い出し、つつい走りたくなります。



まっすぐに走りたくなる青田かな

熱海写真俳句撮詠物語

兼題：自由 令和7年6月句会 No.

2

大きな紅梅の木の根元につくばいがありました。
梅は、満開で見事なうえ、足元にも花弁を散らせてく
て、二倍の美しさに感動しました。



つくばいを覗いてをりぬ春の顔

熱海写真俳句撮詠物語

兼題：自由 令和6年2月句会 No.

7

普段見慣れない氷柱、顔を近づけ見れば我が顔が
重に映っていたのにびっくりした次第



我顔を美男に映す氷柱かな

3

熱海写真俳句撮詠物語 兼題：自由 令和7年1月句会 No.

久しぶりにハモニカを吹いてみました何だか
懐かしい感じでした



寝転んでハモニカ吹けば山笑ふ

13

熱海写真俳句撮詠物語 兼題：自由 令和7年3月句会 No.

里山の仲良し小好し春よ恋



全国が寒波の到来で寒えあがっているが、そんな中でも春は徐々に訪れているようだ。以前住んでいた熱海からは梅の花が満開との便りを受けたが、我が家の梅はまだ小さな蕾。開花はまだまだ先の様だ。
そんな時二羽の目白が我が家を訪れてこんな姿を披露してくれた。体を寄せ合って戯れている。
既にすっかり春の気分なのだろう！

熱海写真俳句撮詠物語 兼題：自由 令和7年2月句会 No.

17

冬紅葉 風を友とし 錦織る



熱海市・熱海梅園

厳しい寒さで最高の鮮やかさを得て華やいたもみじは、大地の赤絨毯となり再び華やいていました。そんな時突如強風が襲い来て！ 平面的な均衡を吹き乱し、減茶苦茶に……！ と思いきやご覧の通りです。
自然の力オス（混沌）は、一つの秩序で錦を織りなし、ダイナミックな模様を醸し出しつ、三度目の華やぎを演じてくれました。

熱海写真俳句撮詠物語 兼題：熱海梅園 平成25年12月句会 No.

56

青みかへな色づき一たみかんよりほるかに
柑橘系のさわやかな香りが強い



自園

青みかん
熱暑なか下香と放ち

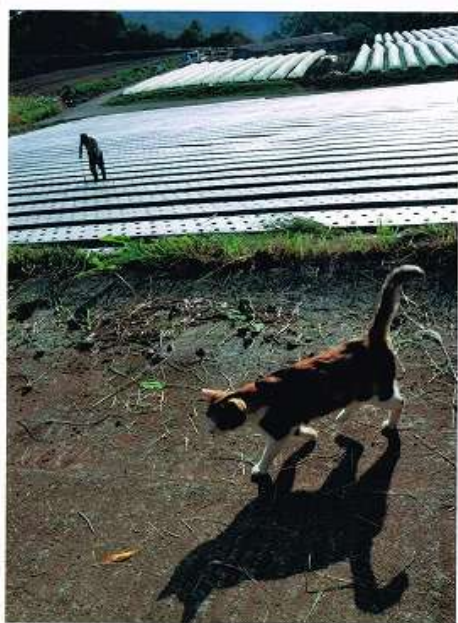
熱海写真俳句撮詠物語 兼題

自由

平成25年8月句会 No.

12

秋の短い日射の中、大根の種まき
猫の手も借りた、おもしろい
春には収穫する予定だそうです



三島市

猫の手も
借りて種まき
天高く

熱海写真俳句撮詠物語 兼題、自由

平成25年12月句会 No.

57

山梨県 塩山にてこり柿を
おそくすゑと見せてソレ
障子の向うに つまんだ干柿
影を つくって居る



人賞

小春日や障子の影に
柿すゑれ

2

山梨県 甲府市

熱海写真俳句撮詠物語 兼題

平成25年12月句会 No.

48

三つ峠の望遠や根レトリニ
幼子の初節句なり
空を 鯉の向うに見て作る



大空に夢の
ふくらむ
初節句

朝霧高原

熱海写真俳句撮詠物語 兼題

平成27年5月句会 No.

42

人賞

以心伝心 言葉は心で伝わる
何満ち笑顔に心 和みきこ



招華微笑
涼風わにる 菩薩の心

熱海写真俳句撮詠物語 兼題 般若院 平成25年 8月句会 No.

8

天賞

天折にやさし 涙を思ひ涙し
て悼みまゐる



迷縁の
慕るゆゑ 蓮浮葉

熱海写真俳句撮詠物語 兼題 自由 平成25年 9月句会 No.

27

UVを嫌って目深か夏帽子



美白クリームも心配な昨今。女性の敵、紫外線を極力さけるに越したことはない。お肌ケアのファンデと鰐広帽子は必需品。

熱海写真俳句撮詠物語 兼題 湯前神社 平成 25 年 8 月句会 No.

42

展示会

新たな出会い

生まれけり



今や写真俳句はグローバル化
外国の方が俳句・短歌・百人一首等興味を持たれる方が増えている
写真俳句は理想的な解りやすいアイテムではないだろうか

熱海写真俳句撮詠物語 兼題 起雲閣 平成 25 年 11 月句会 No.

22

百合の上品で甘い香りが辺り一面風に乗って漂っていた。その瞬間、久しく会っていない友人の顔が思い浮かんだ。



熱海市

白百合の香りに浮かぶ
笑み一つ

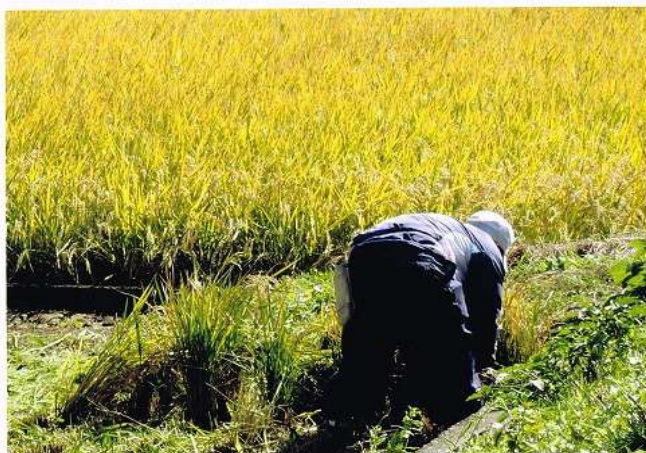
熱海写真俳句撮詠物語

平成 27 年 7 月句会

No.

29

今では稲の刈り取りはすべて機械で刈るものと思っていたが、田んぼの隅は機械が入らないため手で刈るそうだ。腰をかがめた背中にはまるで後光がさしたように青空が広がっていた。



腰かがめ稲刈る背なの空青し

熱海写真俳句撮詠物語

函南

平成 27 年 10 月句会

No.

22

寝ごと言う仔犬の夢や

秋の午後



時々寝言をいいます。何かしやべっているんでしょうが、たぶんエサのことでしょう。静かな昼下がりで。

熱海市

熱海写真俳句撮詠物語

平成 26 年 11 月句会

No.

45

たい焼きを減らして帰る

伏し目の子



あら、足りないわね。一つ落としちゃった・・・。
そう、大変だったわね、ご苦労さん。
とまあ、こんなふうに優しく言われるのが一番辛かったですね。

熱海写真俳句撮詠物語

平成 26 年 2 月句会

37

いたたひの戦い見つけたみだろこの醍醐寺
桜大樹はすふり色の褪せた蒼白の老桜

撮影地 京都醍醐寺



授かりし命と思ひ花仰ぐ

熱海写真俳句撮詠物語 兼題

平成 27 年 8 月 句会

4

たふとひと夜の一期一会。



かぐわしき月下美人の
吐息なる

8



山並みが霞み始めたころ 風情のある秋の夕暮に出会った。大きな川沿いの土手で揺れる芒は 夕日の中ではとよい風にふれしなやかに光っていた。



花芒 芯の強さをみせず揺る

6

熱海写真俳句撮詠物語 兼題

平成 26 年 11 月句会 No.

小田原

イルミネーションの庭園を進むと光の舞台と融合した場所に着き、スケールの大きさに圧倒され見入っていたら体が冷え切ってしまった。油断大敵の時期です。



行くほどに光に紛れ露寒し

9

熱海写真俳句撮詠物語 兼題 花のなみだ (兼題) 平成 28 年 11 月句会 No.

網代のマリンホールを徐行した時、
公園の一角に丸や三角の石が敷き詰め
られていました。
子供の頃に遊んだ「けんけん」を思い出
しました。



夏草に
足音響く
けんけんは。

熱海写真俳句撮詠物語 兼題

平成26年6月句会 No.

6



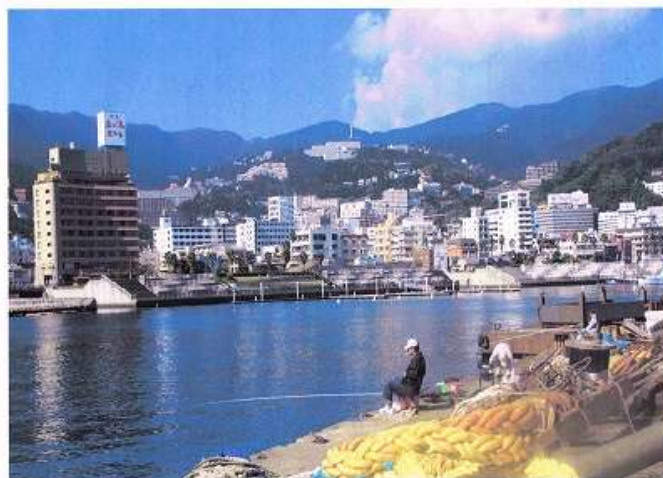
湯の町が
静かに明ける
秋日和

早起きして、駅前まで散歩に行きました。
仲店通りは、人通りもなく、みやげもの屋の子供さんが
開店の準備を手伝っていました。
昼間のにぎわいが嘘のように、静かな朝のひとときでした。

熱海写真俳句撮詠物語 兼題 秋日和 平成27年9月句会 No.

32.
熱海
仲店通り

かつて「東洋のナポリ」といわれた熱海の景色を前に竿を垂れる気分は最高。釣果期待！



湯の町の 景を愛でつつ 根釣りかな

熱海写真俳句撮詠物語 兼題 熱海港 平成 25 年 11 月句会 No.

26

人賞

毎日三十度を超す猛暑にもめげず、ひとり住まいに託けてクーラーを使わない。それというのも自然の風の恩恵あればこそ。



水を打ち 節電決め込む 風の道

熱海写真俳句撮詠物語 兼題

平成 25 年 8 月句会 No.

36

今年げ立秋にならも、酷暑が続き
森羅万象焦熱地獄の中にあった。
雲も熱で炎のようになった。月を心配した。



秋
猛暑
雲炎上し
月を焼く

熱海写真俳句撮詠物語 兼題 多賀地区 平成25年11月句会 No.

51

新年早々美術館の茶屋の庭を散策した、傍の手水鉢にしたたる水
に光が注ぎ、あたかも光の粒が波紋に乗って広がる様は煌めく星
のようであった。



新玉の 光のしずく 池に銀河

熱海写真俳句撮詠物語 兼題 熱海MOA美術館 平成27年1月句会 No.

33

恍惚の友は贈りし花を見ず



すでに恍惚の人となつてしまつた友が
いる。先日桜の花を持つて見舞つたが、
彼は見向きもせずに窓外をじつとみつ
めていただけ、一体、今、彼の魂はどの
あたりを彷徨つてゐるのだろうか？他人
事ではない現実。

熱海写真俳句撮影物語 兼題

平成 年 月句会 No.

16

伸び伸びと少女語らう夏休み



見るからに健康そうな肢体を椅子に預けて
スマホ片手に談笑に余念がない少女たちに
冷房の効いた美術館のラウンジは格好の憩い
の場、夏休みの午後が静かに流れる。

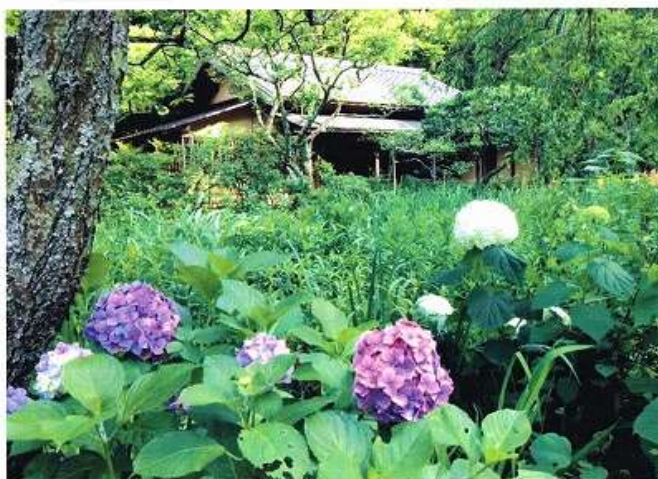
熱海写真俳句撮影物語 兼題

令和 年 月句会 No.

13

通称 駆け込み寺の境内の座禅堂

鎌倉市北鎌倉の東慶寺



紫陽花や 雨音しみる 座禅堂

熱海写真俳句撮詠物語 兼題：自由 平成 26 年 7 月句会 No.

32

晴天の日は房総半島、大島はじめ
太平洋を一望できる絶景スポット

真鶴半島最南端見晴らし台のカフェテラス



見晴らしも 笑みも爽やか カフェテラス

熱海写真俳句撮詠物語 兼題：吟行句 平成26年9月句会 No.

35

風光る長き旅路の門に立つ



陽春の妙本寺で結婚指輪をかざすカッパル。これ
からも仲良く、長い人生を歩んで行ってください。

13

熱海写真俳句撮詠物語

兼題：自由 令和4年5月句会 No.

ゆくゆくは
ほとけとなりし我が身かな



鎌倉の大仏を木立の間から拝み、行く末を考えて
一句。

10

熱海写真俳句撮詠物語

兼題：自由 令和4年5月句会 No.

ベルギーの古都ブルージュにひびく鐘の音



いにしえの
君も甞きか
カリヨンの鐘

熱海写真俳句撮詠物語 兼題

平成 年 月 句会 No.

66

暮。福引で特賞 三万円のおせちが当り
お正月一日のテーブルにのりました
今年は大デタイ。メデタイ。



福引で
当たったおせちの
初笑い。

熱海写真俳句撮詠物語 兼題

平成 年 月 句会 No.

27



秋桜

大室山が

華やかに

熱海写真俳句撮詠物語 兼題

平成25年12月句会 No.

50



柿の実を

彩にする

富士と湖か

富士と雲と湖と 柿の実の コントラストが すばらしくと
感じた。 目視斜上は まさに 柿の実が 糸川と 照り出した。

熱海写真俳句撮詠物語 兼題

平成26年2月句会 No.

24



人南も猫も寝るに
伸びてあり

熱海写真俳句撮詠物語 兼題

平成25年8月句会 No.

25



二千年願いと祈り
宿る大楠

熱海写真俳句撮詠物語 兼題

平成25年8月句会 No.

//

V 13年の活動を顧みて

御 礼

冊子をまとめて記録し記憶に留めようと編集を始めると、その資料の多さに驚く。それはまた活動の多さでもあり、ご支援の多さでもある。こうして長期間続けられたこと、感謝に耐えない。この場をもって御礼申し上げる。

人・施設

(敬称略)

森村誠一 13年間名誉顧問 コンテストで初ご挨拶

中村廣幸 会発足の諸々、運営方法、HPの作成、指導など、山口亜希子様、斎藤牧子様と共に世話になった

熱海市観光協会 チラシ配布、コンテスト景品提供

熱海市役所 熱海市観光まちづくり補助金、チラシ配布

熱海新聞社 様々な催しの記事掲載を始め、9年4カ月(112回)に渡る優秀賞の掲載

ホテルミクラス 鈴木浩治様のご厚意で、5年1ヶ月(61回)366作品の展示。ホテル側にて写真印刷、額提供、額設置

起雲閣 毎月の句会、毎年展示会など多くの催しを歴史施設開催

仲見世通り商店街 富村千代様のご紹介で駅前商店街での2年間に及ぶ208作品の展示

蕎麦処多賀 2年間96作品の展示。コンテスト景品提供

ウェルシテイー湯河原 ホテル+ロビー展示コーナーで1年間72作品の展示

酒井理恵子 画家・熱海百景はがきセット景品提供

MOA美術館 コンテスト景品として無料鑑賞券提供

菓子舗間瀬 コンテスト時での和菓子景品提供、展示会開催

松永房子 5年3カ月間にわたる俳句の講評(特選、入選)

行政制度

熱海市観光まちづくり事業補助金 資金なしに活動はできないし、出来ても長続きしない。催し、団体への資金、特に初期資金支援は市民活動には有効。一次審査での内容設定は会の目的を明快にし、二次審査の客観的な判断も妥当。3年間の区切りも意欲向上に役立つ。熱海市独自の素晴らしい制度であり、今後も続け高齢者を含む世代の活動に支援願いたい。

市民教室 生涯生活の積極的な生活支援、高齢者の多い熱海市には有効なもので意欲を促進する。



森村誠一先生



起雲閣



仲見世通り



MOA美術館



おわりに

閉会のご挨拶

人との出会いは本当に妙なかたちだと思う。偶然に始まり寂しく終わる。

2022年の秋だった。夫婦で近くの花壇の手入れをしていた時、近くにお住まいの森村誠一さんと出会いしばらく立ち話をした。

森村さんはカメラを肩にかけて駅前のスーパーに行く途中だという。

「きれいに咲きましたね。キバナコスモス、鶏頭、この花の名前はなんですか？」

「これは千日紅です。そしてこれは七変化（ランタナ）です。」
すると

「僕は写真俳句を提唱しているんです。俳句に写真を付けると情報量が多くなり、俳句に音や匂いまでするようになり深みが増すんですよ。」

「私も俳句をやっていますが、句集の時少々の挿絵をするくらいです。」

森村さんは当時89歳でしたが年齢を少しも感じさせずお元気で、

今『老いの正体—認知症と友だち』を執筆中なんですと述べていた。

この会話が一つの縁となり「熱海写真俳句撮詠物語」に入会となったのだが、翌年の2023年7月24日、お元気であった先生が90歳で逝去されたという知らせを受け驚き惜しまれた。

2023年12月、第10回目の写真俳句作品展が例年通り起雲閣で開催された。縁あってこの展示会の設営から撤収までの一連を矢崎英夫会長と行った。その時、写真、俳句、句集の製本、そしてPCの映像処理などのイロハを教えて頂いた。翌年矢崎氏が京都府木津川市に引っ越され、熱海起雲閣での作品展はこれが最後となった。

今後をどうするかを検討し、第11回からはHP（WEB上）で行う事にしようということになり今年13回まで行った。また、会長が離熱するに当たり、会長をどうするかの話となり、私が引き継いで早3年となったが、この間、高齢化による会員数の減少となり止む無くここで閉会ということとなった。

2025年10月19日、第13回WEB作品展をもって閉会とします。

長きに渡り皆様と楽しくご一緒できましたこと感謝申し上げます。

会長 久恒仰平



>>>>> 記憶へ

我らの 熱海写真俳句撮詠物語 完

発行日 令和7年（2025）10月29日
題 名 熱海写真俳句撮詠物語の物語
編 集 矢崎英夫
発行者 熱海写真俳句撮詠物語
京都府木津川市南加茂台1-9-16
連絡先 080-3217-3297



印刷本後：訂正、新しい記事、連絡等はこの窓口にて対応します。





熱海写真俳句撮影物語

制作：2025-10-29